

## 令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	ホテル・ブライダル学科		1年
科 目 名	ビジネス実務 I	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	吉川 実玖・キャリア
時 間 数	前期：50 時間／後期： 時間		
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	<p>日々変化・進歩しているビジネス社会で働く「人材」には、仕事を処理するために必要な専門知識はもとより、基本的な社会常識やビジネスマナー、さらには優れたコミュニケーション能力が必要となってくる。</p> <p>そのために必要な社会常識、ビジネスマナー、コミュニケーション能力の習得を目的とした講義内容とする。</p>		
目指す検定・資格			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学時から就職を意識し、「働く意味」を理解させ、自己分析を行っていく。</li> <li>・社会人としてマナーの必要性を理解させるため、業界での必要とされる人材を意識させ、ロールプレイングを取り入れ、実践させていく。</li> </ul>		
そ の 他	時事問題に触れる時間を、積極的に取り入れる。		
	前 期		
授 業 の 概 要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事に全力で取り組む。</li> <li>・キャリアの授業を取り入れ、働く意味を知り、自己分析を行っていく。</li> <li>・社会人としてのマナーを身に付け、実践していく。</li> </ul>		
到 達 目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明確な個人目標設定ができ、それに向かって努力ができる。</li> <li>・マナー・礼儀を身に付け、社会人としての判断ができる。</li> </ul>		
成 績 評 価 方 法	前期試験（95%）、出欠席（5%）で評価		
テ キ ス ト ・ 副 読 本	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ビジネスマナー基本テキスト（日本能率協会マネジメントセンター）</li> <li>② 就職活動ワークブック（日本能率協会マネジメントセンター）</li> <li>③ プリント・</li> </ul>		

## 令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	ホテル・ブライダル学科		1年
科 目 名	ビジネス実務Ⅱ	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	吉川 実玖・キャリア
時 間 数	前期： 時間／後期：77時間		
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	<p>日々変化・進歩しているビジネス社会で働く「人材」には、仕事を処理するために必要な専門知識はもとより、基本的な社会常識やビジネスマナー、さらには優れたコミュニケーション能力が必要となってくる。</p> <p>そのために必要な社会常識、ビジネスマナー、コミュニケーション能力の習得を目的とした講義内容とする。</p>		
目指す検定・資格			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の強みを知り、効果的に自分を伝える方法を学ぶ。</li> <li>・社会人としてマナーの必要性を理解させるため、業界での必要とされる人材を意識させ、ロールプレイングを取り入れ、実践させていく。お</li> </ul>		
そ の 他	時事問題に触れる時間を、積極的に取り入れる。		
	後 期		
授 業 の 概 要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2回の就職対策に向け、自己分析、履歴書作成、業界分析を行う。</li> <li>・社会人としてのマナーを身に付け、実践していく。</li> </ul>		
到 達 目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明確な個人目標設定ができ、それに向かって努力ができる。</li> <li>・マナー・礼儀を身に付け、社会人としての判断ができる。</li> </ul>		
成 績 評 価 方 法	前期試験（95%）、出欠席（5%）で評価		
テ キ ス ト ・ 副 読 本	<ol style="list-style-type: none"> <li>① ビジネスマナー基本テキスト（日本能率協会マネジメントセンター）</li> <li>② 就職活動ワークブック（日本能率協会マネジメントセンター）</li> <li>③ プリント・</li> </ol>		

## 令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	ホテル・ブライダル学科		1年
科 目 名	ウェディングスペシャリスト実務 I	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	吉川 実玖
時 間 数	前期:35時間 / 後期: 時間	実務経験：自分自身もウェディングスペシャリストの資格を取得している経験や、6年間結婚式場でウェディングプランナーをしていた経験を活かし、学生がブライダル業界の魅力や仕事に必要な知識・技術を理解できるよう講義する。	
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	欧米ブライダルビジネスにおける知識習得、欧米と日本における慣習理解 業界最高峰の職種（フリーランスプランナー）理解。		
目 指 す 検 定 ・ 資 格	WBW 認定 ウェディングスペシャリスト (CWS)		
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	非常に難しい内容であるからこそ最高峰の職種検定取得の重要性を認識させ、自分の可能性を伸ばす。内容の意味を身近な事に置き換えて何度も説明をする。		
そ の 他	県内で1校しか認定校になれない重要な科目であり、この検定を目的に入学する学生が多い。教育課程編成委員の方々からもテキストを確認して頂き高評価。		
	前 期	後 期	
授 業 の 概 要	フリーランスプランナーとして、欧米ブライダル市場でビジネス展開が出来る人材構築と専門知識・慣習知識を理解する。		
到 達 目 標	欧米ブライダルのビジネス展開理解と欧米慣習（歴史、宗教）を理解し、フリーランスプランナーとして向上心を持って職務に取り組むことができる。		
成 績 評 価 方 法	期末試験（65%）、提出物（15%）、確認試験（15%）、出欠席（5%）		
テ キ ス ト ・ 副 読 本	著者 Weddings Beautiful Worldwide		

## 令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	ホテル・ブライダル学科		1 年
科 目 名	ウェディングスペシャリスト実務Ⅱ	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	吉川 実玖
時 間 数	前期: 時間 / 後期:25 時間	実務経験：自分自身もウェディングスペシャリストの資格を取得している経験や、6年間結婚式場でウェディングプランナーをしていた経験を活かし、学生がブライダル業界の魅力や仕事に必要な知識・技術を理解できるよう講義する。	
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	欧米ブライダルビジネスにおける知識習得、欧米と日本における慣習理解 業界最高峰の職種（フリーランスプランナー）理解。		
目 指 す 検 定 ・ 資 格	WBW 認定 ウェディングスペシャリスト (CWS)		
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	非常に難しい内容であるからこそ最高峰の職種検定取得の重要性を認識させ、自分の可能性を伸ばす。内容の意味を身近な事に置き換えて何度も説明をする。		
そ の 他	県内で1校しか認定校になれない重要な科目であり、この検定を目的に入学する学生が多い。教育課程編成委員の方々からもテキストを確認して頂き高評価。		
	前 期	後 期	
授 業 の 概 要		宗教に基づく結婚式に必要な知識と欧米で展開するビジネスモデルを理解する。	
到 達 目 標		欧米の結婚式事情を理解し、日本との違いも把握しながらトータルコーディネイトが出来る。	
成 績 評 価 方 法		期末試験（65%）、提出物（15%）、 確認試験（15%）、出欠席（5%）	
テ キ ス ト ・ 副 読 本		著者 Weddings Beautiful Worldwide	

## 令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	ホテル・ブライダル 学科			1 年
科 目 名	ウエディングプランナー実務	科 目 区 分	一般科目	専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期	通年	担 当 教 員	土師 あやか
時 間 数	前期：19時間 / 後期：17時間		実務経験：8年間結婚式場でウエディングプランナーをしていた経験を活かし、学生が、ブライダル業界の仕事に必要な知識や技術を理解できるように講義する。	
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	多様化するカップルのニーズに対応するため、婚礼衣裳に関する専門的な知識と実践的なスキルを身に付け現場で活かす。 日本のウエディングの歴史から伝統・慣習、そして様々な実務の内容や実践方法、現在のブライダル事情を網羅する。			
目 指 す 検 定 ・ 資 格	ウエディングスビューティフルジャパン認定ウエディングプランナー			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	テキストを基本に具体的な画像・動画を用いながら、学生がイメージしやすい内容で専門用語・実務内容を説明する。 試験問題に関しては、過去問の傾向と対策、反復を重ねる。			
そ の 他				
	前 期	後 期		
授 業 の 概 要	関連企業を含むブライダル業界やその職種、現在の市場状況を学ぶ。	新規接客業から婚礼施行・打合せ業務などウエディングプランナーの実務内容を学ぶ。後半は検定対策を行う。		
到 達 目 標	ブライダルの歴史と、宗教ごとの慣習、挙式スタイルを理解し説明できるようになる。	婚礼施行・打合せ業務を理解し、挙式・披露宴のタイムテーブルが組めるようになる。検定の合格を目指す。		
成 績 評 価 方 法	期末試験 (95%)、出席率 (5%)	期末試験 (95%)、出席率 (5%)		
テ キ ス ト ・ 副 読 本	日本のウエディングプランナー育成プログラム 編集：ウエディングスビューティフルジャパン 発行所：株式会社ジャスマック	日本のウエディングプランナー育成プログラム 編集：ウエディングスビューティフルジャパン 発行所：株式会社ジャスマック		

## 令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	ホテル・ブライダル学科		1年
科 目 名	イベントプロデュース I	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	吉川 実玖
時 間 数	前期：63時間	実務経験：6年間結婚式場でウェディングプランナーをしていた経験を活かし、学生がブライダル業界の魅力や、仕事に必要な知識・技術を理解できるよう講義する。	
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	相手への思い、周囲への思いを「形」で表現する。表現の仕方としてイベントで企画運営をしていく。作品ではなく商品を創り上げる中でプロとしての考え方と行動を身に付ける		
目指す検定・資格			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	企画書作成、商品プレゼンにて自社商品の売り出し方を学び、商品製作においては予算と納期を念頭にチームとして自分の立場を認識しながら業務を遂行する。業務の流れの理解。自分の可能性を伸ばすように積極的に行動が出来る。		
そ の 他			
	前 期		
授 業 の 概 要	ベクトルの方向を意識しながら、想いをカタチにする。 外部ゲストの高校生へ向けて楽しく業界知識を学べる企画、施行する。 先輩へのサプライズパーティー、高校生へのドレス試着体験パーティー		
到 達 目 標	チームで協力すること。自己満足な作品にならず、お客様が満足する商品を作り出す。 常にベクトルをお客様に向けイベントを通して何を表現すればよいかゼロから考え、イベントを企画運営する。		
成 績 評 価 方 法	期末試験（65%）、提出物（10%）、 授業態度（15%）、他己評価（5%）出欠席（5%）		
テキスト・副読本			

## 令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	ホテル・ブライダル学科		1年
科 目 名	イベントプロデュースⅡ	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	吉川 実玖
時 間 数	後期：43時間	実務経験：6年間結婚式場でウェディングプランナーをしていた経験を活かし、学生がブライダル業界の魅力や仕事に必要な知識・技術を理解できるよう講義する。	
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	相手への思い、周囲への思いを「形」で表現する。表現の仕方としてイベントで企画運営をしていく。作品ではなく商品を創り上げる中でプロとしての考え方と行動を身に付ける。		
目 指 す 検 定 ・ 資 格			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	企画書作成、商品プレゼンにて自社商品の売り出し方を学び、商品製作においては予算と納期を念頭にチームとして自分の立場を認識しながら業務を遂行する。業務の流れの理解。自分の可能性を伸ばすように積極的に行動が出来る。		
そ の 他			
	後 期		
授 業 の 概 要	高校生へハロウィンパーティーを企画、施行する。 保護者へランクアップセレモニーを企画、施行する。		
到 達 目 標	前期商品の反省を踏まえ、自分たちが成長した姿を表現し、企画を通しお客様に感動を提供する。		
成 績 評 価 方 法	期末試験（65%）、提出物（10%）、 授業態度（15%）、他己評価（5%）出欠席（5%）		
テキスト・副読本			

## 令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	ホテル・ブライダル学科		1 年
科 目 名	ドレスコーディネーター実務	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	坂本 恵
時 間 数	前期：14時間 / 後期：22時間	実務経験：ウェディングプランナー・ドレスコーディネーターなど様々な角度から業界に携わってきた経験を活かし、学生に業界の魅力や必要な知識を講義する。	
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	多様化するカップルのニーズに対応するため、婚礼衣裳に関する専門的な知識と実践的なスキルを身に付け現場で活かす。 洋装・和装の専門知識、貸衣裳業に携わるために必要な実践的技術に加え、ドレスコーディネーターと関連の深い美容・フラワーの基礎知識までを網羅する。		
目 指 す 検 定 ・ 資 格	ウェディングスビューティフルジャパン認定ドレスコーディネーター		
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	テキストを基本に具体的な画像・動画を用いながら、学生がイメージしやすい内容で専門用語・実務内容を説明する。 試験問題に関しては、過去問の傾向と対策、反復を重ねる。		
そ の 他			
	前 期	後 期	
授 業 の 概 要	関連企業を含むブライダル業界やその職種、現在の市場状況を学ぶ。	新規接客業からフィッティング技術などドレスコーディネーターの実務内容を学ぶ。後半は検定対策を行う。	
到 達 目 標	婚礼衣裳の歴史と、洋装・和装の各名称を理解し解答できるようになる。	検定の合格を目指す。	
成 績 評 価 方 法	期末試験（95％）、出席率（5％）	期末試験（95％）、出席率（5％）	
テ キ ス ト ・ 副 読 本	日本のドレスコーディネーター育成プログラム 編集：ウェディングスビューティフルジャパン 発行所：株式会社ジャスマック	日本のドレスコーディネーター育成プログラム 編集：ウェディングスビューティフルジャパン 発行所：株式会社ジャスマック	



## 令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	ホテル・ブライダル学科		1年
科 目 名	ホテルビジネス基礎実務 I	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	吉川 実玖
時 間 数	前期：56時間 / 後期：時間		
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	ホテル実務技能認定試験初級を目指し、宿泊・料飲部門の知識・技術を習得する。		
目 指 す 検 定 ・ 資 格	ホテル実務技能認定試験初級		
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	過去問題や問題集をしっかりと分析し、学生にどこがよく検定に出題されているのか、テキストの確認、補足プリントに要点を記入しつつ進める。また節目にしっかりと確認テストを実施し理解度を深める。		
そ の 他			
	前 期	後 期	
授 業 の 概 要	ホテル実務技能認定試験初級に合格できるよう、宿泊・料飲といったホテル業務に必要な実務知識を体系的に習得できるよう授業を行う。		
到 達 目 標	過去問題を完璧に解けるようにする。一つ一つの問題をなぜ違うのか、なぜ正解なのか解説できるようにし、「ホテル実務技能認定試験 初級」の合格に向け準備する。		
成 績 評 価 方 法	期末試験 (95%)、出欠席 (5%)		
テ キ ス ト ・ 副 読 本	ウィネット 宿泊 I 料飲 I ホテル業務関連知識		

## 令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	ホテル・ブライダル学科		1年
科 目 名	ホテルビジネス基礎実務Ⅱ	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	吉川 実玖
時 間 数	前期：時間 / 後期：52時間		
科目の目的と 講義内容	ホテル実務技能認定試験初級を目指し、宿泊・料飲部門の知識・技術を習得する。		
目指す検定・資格	ホテル実務技能認定試験初級		
指導方法及び 学生に期待すること	過去問題や問題集をしっかりと分析し、学生にどこがよく検定に出題されているのか、テキストの確認、補足プリントに要点を記入しつつ進める。また節目にしっかりと確認テストを実施し理解度を深める。		
そ の 他			
	前 期	後 期	
授 業 の 概 要		ホテル実務技能認定試験初級に合格できるよう、宿泊・料飲・法律といったホテル業務に必要な実務知識を習得しホテルで働く上で必要な知識を中心に授業をする。また現場研修前にサービス技術を習得、復習の実践授業も行う。	
到 達 目 標		過去問題を完璧に解けるようにする。一つ一つの問題をなぜ違うのか、なぜ正解なのか解説できるようにし、「ホテル実務技能認定試験 初級」の合格に向け準備する。	
成 績 評 価 方 法		期末試験 (95%)、出欠席 (5%)	
テ キ ス ト ・ 副 読 本		ウイネット 料飲Ⅰ・Ⅱ 宿泊Ⅱ ホテル業務関連知識	

## 令和6年度 シラバス

学科・学年	ホテル・ブライダル 学科		1 年
科目名	接客サービス実務 I	科目区分	一般科目 ・ 専門科目
開講期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担当教員	土師 あやか
時間数	前期： 20 時間 / 後期：時間		
科目の目的と講義内容	サービス業務に対する心構え、対人心理などの理解、対応の技術、口の利き、ビジネスマナー、テーブルマナー、冠婚葬祭の知識、これらに伴う態度振る舞い、その在り方を学ぶ。		
目指す検定・資格	サービス接客実務検定 2 級		
指導方法及び学生に期待すること	テキストを基本に具体的な例やシーンをを用いながら、学生がイメージしやすい内容で専門用語・実務内容を説明する。 試験問題に関しては、過去問の傾向と対策、反復を重ねる。		
その他			
	前 期	後 期	
授業の概要	サービス接客実務について理解を持ち、一般的なサービスを行うのに必要な知識、技能を学ぶ。		
到達目標	サービス接客実務について十分な理解、技能を持ち、専門的なサービス能力が発揮できる。 サービス接客実務検定 2 級合格を目指す。		
成績評価方法	期末試験 (95%)、出席率 (5%)		
テキスト・副読本	公益財団法人 実務技能検定協会 早稲田教育出版 サービス接客実務検定 実問題集		

## 令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	ホテル・ブライダル 学科		1 年
科 目 名	接客サービス実務Ⅱ	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	土師 あやか
時 間 数	前期：時間 / 後期：20時間		
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	サ国際人として心得ておきたいプロトコール、ビジネスマナー、テーブルマナー、冠婚葬祭の知識などこれらに伴う態度振る舞い、その在り方を学ぶ。		
目 指 す 検 定 ・ 資 格	マナー・プロトコール検定3級		
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	テキストを基本に具体的な例やシーンをを用いながら、学生がイメージしやすい内容で専門用語・実務内容を説明する。 試験問題に関しては、過去問の傾向と対策、反復を重ねる。		
そ の 他			
	前 期	後 期	
授 業 の 概 要		マナー・プロトコールについて初歩的な知識を持ち、技能の基本を理解する。	
到 達 目 標		マナー・プロトコールに関する知識、技能を発揮して、求められる業務が遂行できる。 マナー・プロトコール検定3級の合格を目指す。	
成 績 評 価 方 法		期末試験（95%）、出席率（5%）	
テ キ ス ト ・ 副 読 本		日本マナー・プロトコール協会 マナー&プロトコールの基礎知識 マナー・プロトコール 問題集	

## 令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	ホテル・ブライダル 学科		1年
科 目 名	ホテル・ブライダル演習 I	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	吉川 実玖
時 間 数	前期：20時間 / 後期：時間	実務経験：6年間のウェディングプランナー経験を活かし、学生に業界の魅力や必要な知識を講義する。	
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	業界理解を目的に実際に会場見学や現場のプロからの講話から自分の将来像を明確にする。また、県内研修・県外研修へ向けての動機付け・準備・振り返りを行い、夢の明確化をする。		
目 指 す 検 定 ・ 資 格			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	現場のプロからの講話。動機づけ、振り返りをさせ定着を図る。 受け身ではなく主体的に修得することを期待する。		
そ の 他			
	前 期	後 期	
授 業 の 概 要	ホテル業界、ブライダル業界スタッフからの講話、実際に会場での研修により、業界・職種理解を行う。		
到 達 目 標	業界、職種を理解したことで、各自の夢の明確化		
成 績 評 価 方 法	期末試験 (95%)、出席率 (5%)		
テ キ ス ト ・ 副 読 本			

## 令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	ホテル・ブライダル 学科		1年
科 目 名	ホテル・ブライダル演習Ⅱ	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	吉川 実玖
時 間 数	前期：時間 / 後期：46時間	実務経験：6年間のウェディングプランナー経験を活かし、学生に業界の魅力や必要な知識を講義する。	
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	業界理解を目的に実際に会場見学や現場のプロからの講話から自分の将来像を明確にする。また、県外研修へ向けての動機付け・準備・振り返りを行い、夢の明確化をする。		
目指す検定・資格			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	現場のプロからの講話。動機づけ、振り返りをさせ定着を図る 受け身ではなく主体的に修得することを期待する。		
そ の 他			
	前 期	後 期	
授 業 の 概 要		ホテル業界、ブライダル業界スタッフより、業界・職種理解を行う。業界人として相応しい立ち居振る舞いを学ぶ。また就職活動を迎えるにあたっての、動機付けを行い、早期に就職の意識付けを行う。	
到 達 目 標		業界、職種を理解したことで、各自の夢の明確化と実践を目指す。	
成 績 評 価 方 法		期末試験 (95%)、出席率 (5%)	
テ キ ス ト ・ 副 読 本			

## 令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	ホテル・ブライダル 学科		1 年
科 目 名	一般教養 I	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	坂本 恵
時 間 数	前期：12時間 / 後期：12時間		
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	<p>文章を読解、作成することによって、“考察の力”を鍛える。ビジネスシーンでは文章力が上がることで迅速なやり取り、提案書の質の向上、的確な文書作成が可能となる。ここで業務効率・成果にもつながる。</p> <p>文章読解力・作成力を高めることで、相手の意図を正確に理解する力と、わかりやすく伝える力を身につける。</p>		
目 指 す 検 定 ・ 資 格	日本漢字検定協会主催 文章読解能力検定 3 級		
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	文章作成の基本(語彙・文法・敬語表現・資料分析・通信文作成)を丁寧に指導する。試験対策に関しては、意見文作成を中心に過去問題の傾向と対策、反復を重ねる。		
そ の 他			
	前 期	後 期	
授 業 の 概 要	社会での積極的な理解・表現活動、知的言語活動のために、あるいは、実社会におけるコミュニケーション活動を行うために必要な文章力読解及び、文章作成力を育む。	社会での積極的な理解・表現活動、知的言語活動のために、あるいは、実社会におけるコミュニケーション活動を行うために必要な文章力読解及び、文章作成力を育む。	
到 達 目 標	文章読解・作成検定 3 級合格を目指す。	文章読解・作成検定 3 級合格を目指す。	
成 績 評 価 方 法	期末試験 (95%)、出席率 (5%)	期末試験 (95%)、出席率 (5%)	
テ キ ス ト ・ 副 読 本	文章検文章読解作成能力検定公式テキスト 3 級 文章検定過去問題集 Vol.2 3 級	文章検文章読解作成能力検定公式テキスト 3 級 文章検定過去問題集 Vol.2 3 級	

## 令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	ホテル・ブライダル学科		1年
科 目 名	情報リテラシー I	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	松田 満寿美
時 間 数	前期：20時間 / 後期： 時間		
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	表計算ソフト(Microsoft Office Excel 2019)の基本的なしくみと特徴(計算・グラフデータベース等)を紹介しながら、情報の整理・加工方法などの基本的な操作方法を学ぶ。		
目 指 す 検 定 ・ 資 格	サーティファイ主催 Excel 表計算処理技能認定試験 3 級		
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	<p>操作方法を説明後、テキストの問題を順番にこなしていく。</p> <p>随時初めて使用する機能や関数が出てきた場合には、問題を解かせる前にプロジェクターを使用して解説を行う。</p> <p>また、学生同士で聞き合える環境を作り、お互いに分からないところを教え合うことでより理解を深める。</p>		
そ の 他			
	前 期		
授 業 の 概 要	表計算ソフト(Microsoft Office Excel 2019)の基本的なしくみと特徴(計算・グラフデータベース等)を紹介しながら、情報の整理・加工方法などの基本的な操作方法を学ぶ。		
到 達 目 標	表計算ソフトの基本機能と操作方法を習得する。		
成 績 評 価 方 法	期末試験(95%)、出席率(5%)		
テ キ ス ト ・ 副 読 本	30時間でマスター Office2019 実教出版 Excel 表計算処理技能認定試験 3 級問題集 (2019 対応)		



## 令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	ホテル・ブライダル学科		1年
科 目 名	情報リテラシーⅡ	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	松田 満寿美
時 間 数	前期： 時間 / 後期：20時間		
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	表計算ソフト(Microsoft Office Excel 2019)の基本的なしくみと特徴(計算・グラフデータベース等)を紹介しながら、情報の整理・加工方法などの基本的な操作方法を学ぶ。		
目 指 す 検 定 ・ 資 格	サーティファイ主催 Excel 表計算処理技能認定試験 3級		
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	練習問題、模擬問題を順番にこなしていく。初めて使用する機能や関数が出てきた場合には、プロジェクターを使用して解説を行う。 また、学生同士で聞き合える環境を作り、お互いに分からないところを教え合うことでより理解を深める。		
そ の 他	後 期		
授 業 の 概 要	表計算ソフト(Microsoft Office Excel 2019)の基本的なしくみと特徴(計算・グラフデータベース等)を紹介しながら、情報の整理・加工方法などの基本的な操作方法を学ぶ。		
到 達 目 標	表計算ソフトの基本機能と操作方法を習得する。 サーティファイ主催 Excel 表計算処理技能認定試験 3級の取得を目指す。		
成 績 評 価 方 法	期末試験(95%)、出席率(5%)		
テ キ ス ト ・ 副 読 本	30時間でマスター Office2019 実教出版 Excel 表計算処理技能認定試験 3級問題集 (2019 対応)		

## 令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	ホテル・ブライダル学科		1年
科 目 名	現場実習	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	吉川 実玖
時 間 数	前期：時間 / 後期：160時間		
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	<p>ホテルや専門式場等の施設において、短期間で集中して、実際の仕事や職場の状況を体験し、職業適性を自ら考え、主体的に職業選択ができるようにする。</p> <p>また、実習後、しっかりとした職業意識をもって、何を学ぶ必要があるのかを認識し、学習効果をより向上させる。</p>		
目指す検定・資格			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習開始前に学内で事前指導を行う。実習の目標設定、個人情報への取扱いや守秘義務、心得やマナーについて理解する。</li> <li>・実習中、定期的に教員に報告をし、必要に応じて指導や支援を行い、より効果的な実習に繋げる。</li> <li>・実習終了後、個人で振り返りを行う。さらに、実習成果報告会を行い、実習を通して得たこと、学んだことを受け入れ先企業の担当者に向けて発表をする。</li> </ul>		
そ の 他			
	後期		
授 業 の 概 要	めざす業界・職種企業等で、実際の業務の流れや仕事のやりがい等を体感する。		
到 達 目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習を通して、職業適性を自ら考え、主体的に職業選択ができる。</li> <li>・実習後、各自がしっかりとした職業意識をもって、主体的に学ぶことができる。</li> </ul>		
成 績 評 価 方 法	実習評価表 (60%)、実習日誌 (35%)、出欠席 (5%)		
テキスト・副読本			

## 令和6年度 シラバス

学科・学年	ホテル・ブライダル 学科 1年		
科目名	ホテル英会話 I	科目区分	一般科目 ・ 専門科目
開講期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担当教員	難波 芳子
時間数	前期：15時間 / 後期： 時間	実務経験：米国大学卒業後、英会話教室にて幼児～高校生までに英会話を教えていた経験を活かし、学生が、日常英会話からホテル業界で使用される会話が理解できるよう講義する。	
科目の目的と講義内容	グローバル社会が進む中で、ホテル・ブライダル業界では英会話が必須の時代である。接客基礎英会話力を身に付け、また異文化を学ぶ。外国人観光客の方とも、気軽にコミュニケーションが取れるサービススタッフを目指し、日常でよく使用されるフレーズなどを身につける。		
目指す検定・資格			
指導方法及び学生に期待すること	日本国内にいても外国人との接触場面は今後確実に増えると予測され、特に接客に携わる者にとって、英語で基本的なコミュニケーションをとる必要がますます高まる。ホテルで必要となる英会話表現を中心に学び、必要となった時に即座に英語が出るような運用力を身に付けることを目指すとともに、異文化理解を深め、多文化共生社会を生きる者としての意識を高めてほしい。		
その他			
	前 期		
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ホテル等で一般的に使う英会話表現を覚える。</li> <li>・ 発表の場を持ち表現できるようになる。</li> <li>・ アメリカンカルチャーを理解する。</li> </ul>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 習った表現を瞬時に口から出せるように練習する。</li> <li>・ 異文化について学ぶ。</li> </ul>		
成績評価方法	期末テスト (95%)、出席率 (5%)		
テキスト・副読本	一番やさしい 基本の日常英会話 西東者 Betty Palen 松岡美代子著		

## 令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	ホテル・ブライダル 学科		1 年
科 目 名	ホテル英会話Ⅱ	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	佐藤 眞佐子
時 間 数	前期： 時間 / 後期： 20 時間		
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	<p>ホテル英会話Ⅰに引き続きの講義。グローバル社会が進む中で、ホテル・ブライダル業界では英会話が必須の時代である。</p> <p>接客基礎英会話力を身に付け、また異文化を学ぶ。外国人観光客の方とも、気軽にコミュニケーションが取れるサービススタッフを目指し、日常でよく使用されるフレーズなどを身に付ける。</p>		
目指す検定・資格			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	<p>日本国内においても外国人との接触場面は今後確実に増えると予測され、特に接客に携わる者にとって、英語で基本的なコミュニケーションをとる必要がますます高まる。ホテルで必要となる英会話表現を中心に学び、必要となった時に即座に英語が出るような運用力を身に付けることを目指すとともに、異文化理解を深め、多文化共生社会を生きる者としての意識を高めてほしい。また、留学生の学科との交流の中で、SDGsについて考え、グループで英語でプレゼンテーションを行う。</p>		
そ の 他	ホテル英会話Ⅰから引き続き		
	後 期		
授 業 の 概 要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 担当ごとに使う英語表現を覚える。</li> <li>・ 発表をし、実践に役立てる。</li> <li>・ グローバルな感覚が養えるようにする。</li> </ul>		
到 達 目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 習った表現を瞬時に口から出せるように練習する。</li> <li>・ 異文化について理解を深め、日本文化との違いを意識する。</li> </ul>		
成 績 評 価 方 法	期末テスト (95%)、出席率 (5%)		
テ キ ス ト ・ 副 読 本	<p>一番やさしい 基本の日常英会話 西東者 Betty Palen 松岡美代子著</p>		

## 令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	ホテル・ブライダル 学科			1 年
科 目 名	サービス基礎演習	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目	
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	吉川 実玖	
時 間 数	前期：15 時間			
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	現役スタッフから現場で実演していただきながら知識を習得する。実践の経験によって今後の現場実習で活用・応用力を養う。			
目指す検定・資格				
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	ホテルや結婚式場で現場スタッフからの基礎知識の習得、実践の経験によって、現場実習で基礎力を活かした考え、行動から応用力を身につける。			
そ の 他				
	前 期	後 期		
授 業 の 概 要	現役ホテリエ・プランナーから実際の施設でサービススキルを習得する。基礎となる料飲サービスやベッドメイク、ドレスフィッティングなどの実践をする。			
到 達 目 標	基礎知識に加え、実践ができるようになる。			
成 績 評 価 方 法	提出物 (35%)、実習評価 (60%)、出欠席 (5%)			
テ キ ス ト ・ 副 読 本				

## 令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	ホテル・ブライダル 学科		1 年
科 目 名	セルフスタイリング	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	吉川 実玖
時 間 数	前期：15時間		
科目の目的と講義内容	就職活動や社会人として自分の魅力を最大限に引き出しつつ、第一印象から良い印象を与えられるためのスタイリング力を身につける。		
目指す検定・資格			
指導方法及び学生に期待すること	お客様に似合う色を提案できることはもちろんのこと、就職活動に役立つ「自分に似合う色やメイク」を見つけ、第一印象アップを目指す。		
そ の 他			
	前 期	後 期	
授 業 の 概 要	パーソナルカラー診断やメイク・服装に至るまで自分の魅力を最大限に引き出すとともに、TPO に沿った表現を習得する。		
到 達 目 標	自分に合ったスタイリングだけでなく、相手のスタイリングもできるようになる。		
成 績 評 価 方 法	提出物 (35%)、実技評価 (60%)、出欠席 (5%)		
テキスト・副読本			